

## 兵庫には無限のパワーがある！

～ご挨拶～

阪神・淡路大震災から立ち上がり、復興を遂げた兵庫には強い底力があると実感しています。震災当時、私もすぐに救援物資を持って電車などを乗り継ぎ、最後は歩いて神戸に向かい、長田を中心に救援活動を行いました。そして被災地で、自らも被災者でありながら、炊き出しや救援物資の配布などに参加し、励ましの声をかける兵庫の方々の力強い姿を目の当たりにしました。国や県に頼るのではなく、自分たちで助け合う。兵庫には、そんな「自助努力の精神」「共助の精神」が根付いていると感じます。

今、コロナ禍から抜け出せないこともあり、既存の政党は支援金や協力金などの「バラマキ」に終始していますが、バラマキは増税を招き、赤字を拡大させて日本の未来を壊します。創意工夫や自助努力をこそ大切にすべきです。

「県民の皆様と共有したい政策」では、企業や個人が努力して得た「利益」や「給料」を自由に使えるように、経済を活性化することや、シンプルで安い税金などの減税政策を掲げています。コロナ禍の沈んだ状況から一刻も早く脱却し、輝ける兵庫県・日本を作っていきましょう。全力で頑張ります。どうぞ宜しくお願い致します。



### 【里村英一 プロフィール】

- 兵庫県選挙区統括支部代表
- 1960年新潟県生まれ。
- 現在、幸福実現党政務調査会長
- 大手テレビ局宣伝部勤務を経て、幸福の科学に奉職（専務理事、局長などを歴任）、元「ザ・リバティ」編集長、ネット情報番組「ザ・ファクト」コメンテーター
- 阪神・淡路大震災では、長田地区を中心にボランティア活動に従事した。

### 【里村英一後援会入会のご案内】

ご支援の輪を広げて頂くために後援会員を募集しています。

<定款一部抜粋>

- ①目的：本会の目的は、里村英一の政策に共感し、政治活動を支えることを目的とする。
- ②役員：後援会長1名、副会長若干名、会計監査1名
- ③活動費用：後援会の活動費用は、寄付、行事の会費等でまかなう。
- ④会計年度：毎年1月1日より12月31日とする。

兵庫の繁栄と  
日本の未来のために。



幸福実現党 兵庫県選挙区統括支部代表

さとむら  
里村  
えいち  
英一

討議資料

# 県民と共有したい兵庫県のための政策

# 国政の7大政策

## ①法人減税と電気料金低下で産業復活

◆神戸港は1980年、コンテナ取扱個数ランキングで世界4位を誇っていました。しかし震災などの影響もあり、2019年には67位まで低迷。コンテナ取扱量は近年、海外・国内向けのいずれもほとんど成長しておらず横ばい。

◆企業活動の活発化によって現状を打破するために、まずは法人税の実効税率を10%台まで大幅減税。

さらに、贈与税等を廃止し、事業承継のコストを下げます。

◆製造業にとって、電気料金の値上がりは頭が痛い。全国の原発の再稼働などにより電気料金を引き下げ、諸経費を安くします。

◆雇用の確保で人口流出を防ぎ、後継者不足の解消も目指します。

## ②渋滞を解消、大胆な規制緩和

◆高速道路の全国渋滞ワーストランキングは、阪神高速神戸線西宮JCT～第二神明接続部の上下線が1位、2位を独占しています。



◆公共事業への投資は効果の見極めが必要ですが、兵庫の基幹道路は日本の大動脈であり、国防・防災上の観点からも、一刻も早く大規模な道路整備に取り組む必要があります。

◆渋滞の解消により、製造→流通→消費のスピードが速いという兵庫の強みを活かし、「人・モノ・カネ・情報」の回転速度を上げ、さらなる発展を呼び込みます。



1 中国の悪事から日本と世界を守る  
台湾防衛は日本の使命

2 無駄な役人や役所を今すぐ“減量”  
役所はやらなくてよい仕事はするな

3 バラマキやめて「勤勉革命」  
安い税金で努力が報われる国へ

4 先進国を没落させるグレタ教にNO  
中国を利する脱炭素政策は今すぐ廃止

5 監視強化の流れに歯止めを  
個人情報の一元管理は見直しへ

6 コロナ戦争に打ち勝つ  
中国の責任追及こそ最大の感染症対策

7 LGBTQの安易な権利拡大に抑止を  
「家族」を壊す法改正は断固反対

兵庫の繁栄と  
日本の未来のために！

